

やまぐち なかぞの  
 山口市営・中園アパート整備事業

受賞機関 山口市

はじめに

山口市の都心部に位置する中園町一帯は「山口情報文化都市基本計画」による新都心地区に定められている。同計画は、県都・中核都市としての豊かな都市的サービスの提供とともに、人口定住等の目的とする情報・業務・文化ゾーンの形成を図ることを目的に平成5年に決定されたものである。

本事業は、その地区のなかでも基盤整備と建築物整備・誘導を公共主導で実施する区域と定められたなかに住宅用地として位置づけられ、付近住宅地の住環境改善を誘導する事業として期待されている。

事業の特徴

66戸を有する旧中園アパートは、第四次山口総合計画に基づく建替対象団地年次計画によって建替事



中園アパート新築工事（第2期）

業を行った。建替に際しては山口市の高齢者人口の増加とその福祉を考慮し、管理戸数70戸のうちシルバーハウジング20戸を市営住宅では初めて計画した。

新しい住宅は人や環境に優しい住宅を目指すとともに、将来の住戸の可変性を確保するため構造に逆スラブを用いたスケルトン住戸とした。

各住戸内はもちろんのこと、エレベーターと渡り廊下によって団地内の移動も楽にできるなど、団地全体のバリアフリー化を図るとともに、住棟の一部に集会室や団らん室を設けたほか、屋上菜園などによる高齢者等のコミュニケーションづくりを意図した。

また、4棟ある住棟の中心に中庭を配置し、中庭に面して共用廊下などの共用の動線を設けることで、中庭を通して視覚的なコミュニケーションと居住者相互の見守りができる計画とした。

環境面では、雨水はできるだけ地面に戻るよう駐車場に透水性舗装を使用。さらに、外灯はソーラータイプ、エレベーターも機械室のない少電力タイプとしたほか、外壁の一部に自然素材の珪藻土を、中庭通路に再生木を使用した。

また、住戸内部の床には地場産材の桧の無垢板を使用することで、室内空気汚染を避けると同時に県内林業振興に配慮した。



1期工事



1期工事